

平成27年度 第31回九州地区連絡協議会開催報告

梅雨前線は九州南岸に居座り、まだまだ梅雨明けまでにはほど遠い6月27日（土）、お城の石垣普請では名手とされる加藤清正公により築かれた熊本城を正面に見る、KKRホテル熊本において、第31回麻布大学同窓会九州地区連絡協議会（九州ブロック総会）が開催されました。

開催に当たり、長友士郎会長（宮崎県支部長 昭和36年卒）があいさつの中で、125周年記念式典に関して、募金活動や、創立者與倉東隆先生の銅像建立、さらに食堂や産業動物臨床教育センター等の新設など、先に開催されました評議員会の詳細な報告がありました。

また、議事終了後、福山新同窓会長から会員の確保と同窓会発展の方策について、浅利学長からは大学の臨床系教師陣の確保、国家試験対策、公務員獣医師養成など、大学が直面している課題とその取り組みについて熱く語っていただきました。

総会が終わり、恒例の懇親会に突入しました。今年は各県からの参加者18名に加え、熊本県支部から38名が参戦。聞けば、小澄支部長（熊本県支部 昭和51年卒）から葉書による召集令状が発出されたとのこと。さすが、肥後もっこすは一度決めたらまっしぐら！事務局の私としてもブロック会議では初めて経験する大宴会となりました。

会場では熊本県支部会員の皆さんの暖かいお心遣いに感動しながら、終始、和やかな雰囲気でおいしいご馳走と焼酎をいただくことができました。

宴もたけなわとなり、元応援団は壇上に全員整列。再会を祈念して参加者全員で「寮歌」を合唱したあと、来年開催予定の大分県 佐藤支部長（昭和39年卒）の万歳三唱の音頭で無事終焉となったのであります。

約2時間半の大宴会で、阿蘇の噴煙のように、熱く燃えた麻布の志士たちの心は到底おさまるはずもなく、小澄支部長のかげ声のもと、ネオン輝く熊本の町に突撃したのであります。

宮崎県支部 西元 俊文（昭和55年卒業）

